

梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.16

埼玉県こども動物自然公園オープン 1980(昭和55)年

1980(昭和55)年、岩殿地区に埼玉県こども動物自然公園がオープンしました。「子どもたちが動物と親しみ、自然の中で情操と科学の心を養い、リラックスして遊べる」を理念に計画された動物公園で、1986(昭和61)年にはオーストラリアからコアラがやってきて大人気となりました。2020(令和2)年には「世界一しあわせな動物」と呼ばれる小型カンガルーのクオッカが仲間に加わり、現在180種近い動物と出会うことができます。

東松山市では市内にコアラの好物であるユーカリを植樹するなどして歓迎したよ。



世界最小のシカ「ブーズー」は、日本で初めてここが公開したんだ!



キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画「漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ」のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



しがほつやま キッズ集合!

おしえて『文化財』

相撲場と 大雷神社の絵馬

大谷の大雷神社では、江戸時代中頃から明治20年代まで、10月に祭礼相撲が行われていました。江戸時代は、相撲や芝居などがぜいたくであると禁止されていたのですが、大谷の相撲は祭礼として特別に許可されていました。地元では、お祭りのハレの食べ物としてぼたもちがつくられ、相撲見物に来た人に振る舞われたことから「大谷のぼたもち相撲」と呼ばれていました。

神社の南側の一の辻にはプロの大相撲、北側の二の辻にアマチュアの草相撲用と2か所の相撲場がありました。現在では一の辻はゴルフ場となりました。二の辻は、樹木が生い茂っていますが、土俵となる平場と、300席に及ぶ見物席を設けるために斜面地を削った箇所に残されています。



相撲場(二の辻)見物席跡

当時の相撲の様子が描かれた絵馬は、大雷神社に今でも掲げられています。



絵馬

問
埋
蔵
文
化
財
セ
ン
タ
ー
1
0
3
3
3
3
FAX
27
-
0
3
3
4